

## 秋田大学医理工連携コース コラボ企画

女性大学院生・学部生のための

# キャリア・パス講演会

研究者になりたいけれど、そこにはどんな生活が待っているのだろう…  
社会人になると学生生活とどんな違いがあるのか良くわからない…  
そんな小さな疑問や悩みを解決することで、自分の将来が大きく変わるかもしれません！  
研究所で活躍している女性研究者のお話から“**未来の自分が輝くヒント**”をみなさんで探してみませんか。

このリーフレットは、秋田大学 医理工連携コースとのコラボ企画として、平成27年8月21日に開催した「女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会」の内容をもとに作成しております。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
女性研究者研究活動支援事業（拠点型）  
秋田大学「医理工連携コース」の枠組みによる女性研究者支援

### 秋田大学 医理工連携コース コラボ企画 女性大学院生・学部生のための キャリア・パス講演会

研究者になりたいけれど、そこにはどんな生活が待っているのだろう…  
社会人になると学生生活とどんな違いがあるのか良くわからない…  
そんな小さな疑問や悩みを解決することで、自分の将来が大きく変わるかもしれません！  
研究所で活躍している女性研究者のお話から“**未来の自分が輝くためのヒント**”を  
みなさんで探しましょう。

平成27年  
日時 **8月21日(金)**  
16:20~17:50

講演 **「選系として経験してきたこと」**  
講師：秋田県総合食品研究センター 醸造試験場  
活類グループ研究員 佐藤 雅 氏

場所 秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー  
2階 大セミナー室

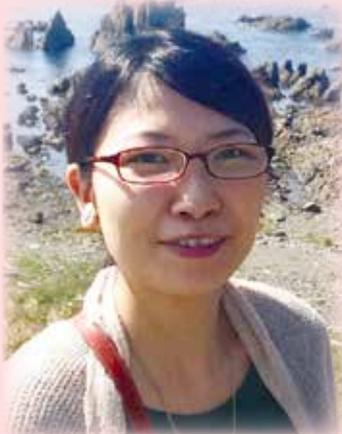
対象 女性大学院生・学部生、若手研究者  
研究機関関係者 ☆男性の参加も大歓迎です！

プログラム  
16:20 開会挨拶  
16:25 講演「選系として経験してきたこと」  
17:05 交流会  
17:50 閉会

お問合せ 秋田大学男女共同参画推進室コロコニ  
TEL:018-889-2260 FAX:018-889-3106  
E-mail: sardokk@p.ac.akita-u.ac.jp



## 講師紹介



秋田県総合食品研究センター  
醸造試験場 酒類グループ

研究員 **佐藤 雅** 氏  
Sato Masa

### 【プロフィール】

東京農工大学工学部 生命工学科を卒業



生命現象に興味を持ち、ニトリルヒドラーゼ (NHase) という酵素について研究

東京農工大学大学院工学府 生命工学専攻修了



生活に身近な「食」に関する研究・開発をしたい！

食品会社に就職。東京工場の品質管理室に勤務



「生活に直接役立つものを研究・開発したい！」  
地元秋田に貢献し、大学で研究した微生物の  
ことも生かせないだろうか・・・？

秋田県総合食品研究センターに転職  
醸造試験場 酒類グループにて研究員として勤務

## 佐藤 雅さんにインタビューしました

Q1) 子どもの頃になりたかった職業は何ですか？また、それが現在の職業と関係した部分がありますか？

A1) 幼稚園の頃は果物屋さん、小学生の頃はピアニスト、発明家、中学生以降は科学者になりたいと思っていました。かなりおおざっぱにまとめると、食品の研究・開発になるかもしれません。そうすると今につながっていると思います。ピアニスト要素は謎ですが。

Q2) 大学の研究室生活についておしえてください。

A2) 朝から晩まで実験に集中出来ていた時期だと思います。社会人になり、ラボのスタッフ陣への感謝の気持ちが大きくなりました。また、そのとき出会えた同期やラボ仲間とは今でも会ったり連絡を取ったりしています。毎日楽しく充実した日々を過ごせました。

## 佐藤 雅さんから、これから就職活動をするみなさんへのメッセージ

就職支援サイト等で会社を検索すると山のように出てくるので、焦ってたくさんエントリーしてしまいがちです。

どのような会社でどのような事業を行っているのか、自分はそこでどのように働くのかイメージ出来る場所に絞るのがいいと思います。

また、自己分析はほどほどにし、自信を持つことが大事です。

最後はその会社とのご縁。採用にならなくても自分の絶対的な評価を下されたわけではないので、あまり気にせず、気持ちを切り替えていきましょう。



佐藤 雅さんの所属する

## 秋田県総合食品研究センターと研究生活について



### ■使命

食関連産業新展開のための技術支援の強化



「売れる商品づくり」の推進  
技術支援・共同研究の強化

### ■主要業務

食品産業の振興につながる **技術開発**  
県内食品加工業者への **技術支援**  
研究室や各種機器類の **開放**  
各種研修・研究会活動の **支援**

### 【醸造試験場 酒類グループの一年間】

	審査会・講習会・指導など	研究
4月		政策課題の実験
5月	全国新酒鑑評会秋田審査会	技術相談への対応など
6月	醸友会、清酒分析研究会など	↓
7月	きき酒講習会	
8月	山内杜氏酒造講習会 のみ切り（貯蔵出荷管理指導）	
9月	秋田県清酒品評会	
10月		
11月	東北清酒鑑評会製造技術研究会	↓ ↓
12月		
1月	酒造技術巡回指導	
2月		
3月	秋田県清酒鑑評会	

### 総合食品研究センターで働いて・・・

県の食品産業のための研究や技術開発を行っているため、製品や売り上げにつながるものが求められます。

また、私の所属する酒類グループは研究の他に酒蔵への指導や講習会も多く、研究者であると同時に県の職員・指導員という面が強いと思います。酒造現場の反応に直に触れることが出来るため、責任とともにやりがいを感じています。



### 今後は・・・

- ◆蔵元の方々に、より有効に使っていただけるような技術や情報を提供し、秋田の日本酒業界に貢献したい
- ◆日本酒という文化・産業が将来に渡って維持され、働く人にも還元されるようにつなげていきたい

## キャリア・パス講演会を終えて

今回は秋田県総合食品研究センター醸造試験場酒類グループの佐藤雅先生にお越しいただき、ご自身のキャリア形成や日本酒に関してご講演いただきました。私は医理工連携コースの担当者として理工学部修士課程、医科学修士課程の学生で医理工連携コースを選択している6名と一っしょに先生のお話を拝聴しました。

最初の職場である一般企業への就職から現職への転職までのキャリアに関してお話しいただき、学生にとっても有意義な内容だったと思います。

また現在の職場で秋田の酒造りに貢献している話は個人的に興味を沸き、秋田の酒が益々好きになりました。

ご講演終了後には少人数の交流会が行われました。そして酒造りに関する質問など、楽しい雰囲気でご会が進みました。佐藤雅先生が醸し出す雰囲気に会場全体が、ふわりとした酔い心地を感じ、その中にピリリと辛さの効いたコメントもあり、会が終わった後は極上の吟醸酒をいただいた感じがしました。

佐藤雅先生の益々のご活躍を確信するとともに、参加した学生が技術者や研究者として活躍することを心から祈っております。

南谷 佳弘



秋田大学大学院医学系研究科  
医理工連携コース  
南谷 佳弘 教授

## 実施レポート

平成27年8月21日（金）16時20分より本学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーにおいて、「女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会」を開催しました。

当日は、秋田県総合食品研究センター醸造試験場 酒類グループ研究員の佐藤雅氏を講師に迎え「理系として経験してきたこと」と題して講演を行いました。

講演では、大学での研究内容の紹介や一般企業への就職を経て現職に就いた経緯、これまでの経験を通して感じたことや、現在研究されている日本酒について等、詳しくお話しいただきました。

参加者は講演内容に大変興味を持った様子で、質疑応答では理系の女性が企業ですっと働くことについての質問があり、また、今回の講演によって日本酒の研究に興味をもった学生もおりました。

講演後に行った交流会では、講演の中で聞くことができなかった話題など、気軽な雰囲気でお話をする様子が見られ、大変有意義な会となりました。



講演の様子



交流会の様子

## 参加者の声

- 秋田県には非常に多くの銘柄の日本酒があることに改めて驚きました。きき酒をする機会があれば、是非参加してみたいと思います。
- 民間から研究所への転職の話等、興味のある内容でとてもためになりました。このイベントは来年も継続してほしいです。